

R6 年度改訂 指導計画 一覧

01-A	【様式】 全体的な計画（0～2歳児） ※A3 横	1
01-B	【様式】 全体的な計画（3～5歳児） ※A3 横	2
02-A	【要点】 3歳未満児：長期指導計画（年間：1枚完結） ※A3 横	3
	【様式】 3歳未満児：長期指導計画（年間：1枚完結） ※A3 横	4
02-B①	【要点】 3歳未満児：長期指導計画（年間：3か月ごと（3か月～）） ※A3 横	5
	【様式】 3歳未満児：長期指導計画（年間：3か月ごと（3か月～）） ※A3 横	6
02-B②	【要点】 3歳未満児：長期指導計画（年間：3か月ごと（1歳～）） ※A3 横	7
	【様式】 3歳未満児：長期指導計画（年間：3か月ごと（1歳～）） ※A3 横	8
03	【要点】 3歳以上児：長期指導計画（月別の年間指導計画） ※A4 縦	9
	【様式】 3歳以上児：長期指導計画（月別の年間指導計画） ※A4 縦	10
04	【要点】 3歳未満児：短期指導計画（個別） ※A3 横	11
	【様式】 3歳未満児：短期指導計画（個別） ※A3 横	12
05	【要点】 3歳以上児：短期指導計画（週日案） ※A3 横	13
	【様式】 3歳以上児：短期指導計画（週日案） ※A3 横	14
	【記載例】 3歳以上児：短期指導計画（週日案） ※A3 横	15
06-A	【様式】 日案（環境図1枚完結） ※A3 横	16
06-B	【様式】 日案（個別） ※A4 縦	17
06-C	【様式】 日案（環境図） ※A4 縦	18

めざす子ども像		〇 〇		〇 〇	
		0歳児		1歳児	
子どもの姿					
● ねらい ● 養護 ○ 教育					
内容		健康			
		人間関係			
		環境			
		言葉			
		表現			
食育・安全		保健			

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

めざす子ども像		3歳児		4歳児		5歳児（架け橋期）	
○ ○		○ ○					
子どもの姿							
● ねらい	○ 養護	● ※養護のねらいは、保育所・認定こども園のみでよい					
○ 教育							
内容		健康	人間関係	環境	言葉	表現	
・食育安全		保健					

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

※5歳児は、小学校との接続（架け橋期）を意識して、ねらい・内容を設定しましょう。

年間指導計画

○年度 ○○園 ○歳児

【年間保育目標】
全体的な計画から書き出す

4月～5月

6月～7月

8月～9月

10月～12月

1月～3月

クラス全体に関わること

季節や時期による子どもたちの経験や保育者による環境構成・援助など、全体的なことを記載する

各園の入所可能月齢から記載すること（急な入所も考えられるため、現時点での在籍児で判断しない）

	3か月～5か月	6か月～8か月	9か月～11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの年度当初のありのままの姿を記載 各園の当該乳児の姿を書く 在園児がいない場合は、指針・要領を参考にこの頃の乳児に見られるであろう姿を書く 				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●養護（「生命の保持」や「情緒の安定」に関わるもの） <ul style="list-style-type: none"> ※子どもの姿から育ちつつある部分をふまえて「ねらい」を立てる。その際、指針・要領の「5領域」を参考にする。 ○教育（遊びや生活） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ○
内容	<ul style="list-style-type: none"> ねらいを達成するために、子どもがどのような経験（遊び・活動・生活等）をするとよいかを書く 				
★環境構成 ◆援助	<ul style="list-style-type: none"> ★ねらいを達成するために、どのような環境構成をするとよいかを書く ◆ねらいを達成するために、どのような援助をするとよいかを書く 	<ul style="list-style-type: none"> ★ ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> ★ ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> ★ ◆ 	<ul style="list-style-type: none"> ★ ◆
保健・安全・食育	<ul style="list-style-type: none"> その時期や発達に特に大切にすることを書く【保育者側からの書き方】 				
家庭や地域との連携					

5領域
指針・要領の1歳児以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容(5領域)を参考に記載する

別紙(別計画)に作成してもよい

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

年間指導計画

〇年度 〇〇園 〇歳児

【年間保育目標】				
4月～5月	6月～7月	8月～9月	10月～12月	1月～3月
クラス全体に 関わること				

(例)	3か月～5か月	6か月～8か月	9か月～11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月
子どもの姿					
ねらい	● ○ 3つの視点	● ○	● ○ 5領域	● ○	● ○
内容					
★環境構成 ◆援助	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆
保健安全食育					
家庭や地域との連携					

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

年間指導計画

○年度 ○○園 ○歳児

【年間保育目標】 全体的な計画から書き写す	4月～5月	6月～7月	8月～9月	10月～12月	1月～3月
各園の入所可能月齢から記載すること (急な入所も考えられるため、現時点での 在籍児で判断しない)	季節や時期による子どもたちの経験 や保育者による環境構成・援助など、 全体的なことを記載する				

		6か月～8か月			9か月～11か月	
子どもの姿	子どもの年度当初のありのままの姿を記載 ・各園の当該乳児の姿を書く ・在園児がいない場合は、指針・要領を参考にこの頃の乳児に見られるであろう姿を書く					
ねらい	●養護(「生命の保持」や「情緒の安定」に関わるもの) ※子どもの姿から育ちつつある部分をふまえて「ねらい」を立てる その際、指針・要領の「5領域」を参考にする ○教育(遊びや生活) 3つの視点	● ○				
内容	・ねらいを達成するために、子どもがどのような経験(遊び・活動・生活等)をするとよいかを書き ★ねらいを達成するために、どのような環境構成をするとよいかを書く ◆ねらいを達成するために、どのような援助をするとよいかを書く	★ ◆				
保健・安全・食育	・その時期や発達に特に大切にすることを書く 別紙(別計画)に作成してもよい					
家庭や地域との連携						

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

年間指導計画

○年度 ○○園 ○歳児

【年間保育目標】			
4月～5月	6月～7月	8月～9月	10月～12月 1月～3月
クラス全体に関わること			

(例) 3か月～5か月		6か月～8か月		9か月～11か月	
子どもの姿					
ねらい	● ○	● ○	● ○	● ○	● ○
内容					
★環境構成 ◆援助	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆
保健安全食育					
家庭や地域との連携					

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

年間指導計画

○年度 ○○園 ○歳児

【年間保育目標】 全体的な計画から書き写す			
クラス全体に関わること	4月～5月	6月～7月	8月～9月
	10月～12月	1月～3月	
季節や時期による子どもたちの経験や保育者による環境構成・援助など、全体的なことを記載する			

	1歳3か月～1歳5か月	1歳6か月～1歳8か月	1歳9か月～1歳11か月
子どもの姿	・子どもの年度当初のありのままの姿を記載 ・在園児がない場合は、指針を参考にこの頃の乳児に見られるであろう姿を書く		
ねらい	●養護（「生命の保持」や「情緒の安定」に関わるもの） ※子どもの姿から育ちつつある部分をふまえて「ねらい」を立てる。その際、指針・要領の「5領域」を参考にす。 ○教育（遊びや生活）	● ○	● ○
内容	・ねらいを達成するために、子どもがどのような経験（遊び・活動・生活等）をするとよいのかを書く		
★環境構成 ◆援助	★ねらいを達成するために、どのような環境構成をするとよいのかを書く ◆ねらいを達成するために、どのような援助をするとよいのかを書く	★ ◆	★ ◆
保健・安全・食育	・その時期や発達に特に大切にすることを書く 【保育者側からの書き方】 別紙（別計画）に作成してもよい		
家庭や地域との連携			

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

年間指導計画

○年度 ○○園 ○歳児

【年間保育目標】			
4月～5月	6月～7月	8月～9月	10月～12月
1月～3月			
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			

（例） 満1歳～1歳2か月		1歳3か月～1歳5か月		1歳6か月～1歳8か月		1歳9か月～1歳11か月	
子どもの姿							
5領域	● ○	● ○	● ○	● ○	● ○	● ○	● ○
内容							
★環境構成 ◆援助	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆	★ ◆
保健・安全・食育							
家庭や地域との連携							

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

○年度

○○園

月別の年間指導計画

○歳児

○○組

担任○○ ○○

【年間保育目標】		<p>・全体的な計画から書き写す</p> <p>・毎月確認することで、各年齢の3月までに育みたい力を常に意識して計画を立て、実践できるようにする</p>
歳児	月	
<p>予想される (この頃の) 子どもの姿</p>		<p>(行事)</p> <p>行事等必要に応じて項目を決定する</p>
<p>ねらい (●養護○教育)</p> <p>内容(・)</p>	<p>●養護(「生命の保持」や「情緒の安定」に関わるもの) ※養護のねらいは、保育所・認定こども園のみでよい</p> <p>○教育(遊びや生活) ※子どもの姿から育ちつつある部分をふまえて「ねらい」を立てる その際、指針・要領の「5領域」を参考にする</p> <p>※幼稚園は、養護の表記がないため、○で生活(領域「健康」など)について表記する</p> <p>・内容 ※ねらいを達成するために、子どもがどのような経験(遊び・活動・生活等)をするとよいのかを書く</p>	
<p>環境構成 (★)</p> <p>保育者の援助 (◆)</p>	<p>★環境構成 ※ねらいを達成するために、どのような環境構成をするとよいのかを具体的に書く</p> <p>◆保育者の援助 ※ねらいを達成するために、どのような援助をするとよいのかを書く</p>	
<p>保健・安全・食育 への配慮</p>		<p>別紙(別計画)に作成してもよい</p>
<p>家庭や地域との 連携</p>		

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

※5歳児は、小学校との接続(架け橋期)を意識して、ねらい・内容を設定しましょう。

○年度

○○園

月別の年間指導計画

○歳児

○○組

担任○○ ○○

【年間保育目標】		
.		
歳児	月	(行事)
予想される (この頃の) 子どもの姿		
ねらい (●養護○教育) 内容(・)	● . . ○ . .	
環境構成 (★) 保育者の援助 (◆)	★ ★ ◆ ◆	
保健・安全・食育 への配慮	.	
家庭や地域との 連携	.	

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

※5歳児は、小学校との接続(架け橋期)を意識して、ねらい・内容を設定しましょう。

短期：2週間程度の個別の指導計画

【3歳未満児】 No.4

一人一人の子どもの様子をよく見て、子ども理解を図りながら計画し実践する

○年度 ○○園 ○歳児 ○○組 ○月 日() ~ ○月 日() 担任 ○○ ○○ 所属長印

クラス全体で配慮すること	季節・行事などから(環境構成など)	行事								
名前(月齢)	A児 ○歳○か月	B児 ○歳○か月								
先月(週)の子どもの姿										
ねらい (●養護 ○教育)	●養護(「生命の保持」や「情緒の安定」に関わるもの) ○教育(遊びや生活) ※子どもの姿から育ちつつある部分をふまえて「ねらい」を立てる その際、指針・要領の「3つの視点(0歳児)」「5領域(1・2歳児)」を参考に する ●内容 ※ねらいを達成するために、子どもがどのような経験(遊び・活動・生活等)を するとよいかを書く	● . ○ .								
環境構成(★) 保育者の援助(◆)	★環境構成 ※ねらいを達成するために、どのような環境構成をするとよいかを 書く ◆援助 ※ねらいを達成するために、どのような援助をするとよいかを 書く	● . ○ .								
家庭との連携	家庭との連携など、必要に応じて使用する									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">養護</td> <td>0歳児</td> <td rowspan="2">健康</td> <td rowspan="2">人間関係</td> <td rowspan="2">環境</td> <td rowspan="2">言葉</td> <td rowspan="2">表現</td> </tr> <tr> <td>1歳以上児</td> </tr> </table>	養護	0歳児	健康	人間関係	環境	言葉	表現	1歳以上児	<p>1. 2週間程度の時点で、前半の欄に下記の視点①②を参考に評価し、記録する</p> <p>2. 評価を基に、ねらい・内容・環境構成・援助等に変更があれば、赤等で加筆・修正し、後半の教育・保育を实践する</p> <p>3. 最終日に、後半の欄に、下記の視点①②を参考に評価し、記録する</p>	<p>この様式には、最低限の項目を表記しています。保育室や園庭の環境図等、保育を实践していく上で必要な項目があれば、裏面や別紙を活用する等、各園やクラスの実態に応じて工夫して計画を立てるようにしてください。</p>
		養護						0歳児	健康	人間関係
1歳以上児										
反省・評価	<p>【反省・評価の視点】</p> <p>① 子どもの育ちや発達についての振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや発達について、保育者が気付いたこと等(エピソードと共に記録するとよい) ・子どもの発達や特性が分かるように書く ・自分が関わったときの子どもの反応 <p>② 保育者(指導計画)の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと内容が適切であったか ・環境構成は適切であったか(「指導計画・園内研修の手引き(P27)」で示している環境構成の視点を参考に) ・保育者の援助は適切であったか(「指導計画・園内研修の手引き(P29)」で示している援助の視点を参考に) <p>等</p>									

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

短期：2週間程度の個別の指導計画

【3歳未満児】 No.4

所属長印

担任 ○○ ○○

日()

月

組

○年度 ○○園 ○歳児 ○○組

クラス全体で配慮すること		季節・行事などから(環境構成など)		行事	
名前(月齢)	A児 ○歳○か月	B児 ○歳○か月	C児 ○歳○か月		
先月(週)の子どもの姿					
ねらい (●養護 ○教育)	● . ○ .	● . ○ .	● . ○ .	● . ○ .	
内容(●)	★ ★	★ ★	★ ★	★ ★	
環境構成(★) 保育者の援助(◆)	◆ ◆	◆ ◆	◆ ◆	◆ ◆	
家庭との連携					
養護	前半		後半		
	0歳児	1歳以上児	健康	人間関係	環境
教育	健やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	言葉	表現	
	反省・評価				

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。

今月のねらい	●年間指導計画の当月から書き写す。毎週確認することで、今月育みたい力を常に意識して計画を立て、実践できるようにする ●先週の反省・評価を基に、先週の子どもの姿を書く							家庭や地域との連携
先週の子ども姿	●養護（「生命の保持」や「情緒の安定」に関わるもの） ○教育（遊びや生活） ※子どもの姿から育ちつつある部分をふまえて「ねらい」を立てる その際、指針・要領の「5領域」を参考にする ※幼稚園は、養護の表記がないため、○で生活（領域「健康」など）について表記する ●内容 ※ねらいを達成するために、子どもがどのような経験（遊び・活動・生活等）をするとよいかを書く							家庭や地域との連携や行事等、必要に応じて項目を決定する
ねらい （●養護 ○教育） 内容（・）	○月○日（月） 天気（○） ○月○日（火） 天気（○） ○月○日（水） 天気（○） ○月○日（木） 天気（○） ○月○日（土） 天気（○）	◎長期の指導計画のねらいも参考にする	○月○日（水） 天気（○）	○月○日（木） 天気（○）	○月○日（土） 天気（○）	○月○日（土） 天気（○）		
【生活の流れ】 ○：○ 登所 所持品の始末 ○：○ 降所	子ども（ ） の主な活動（ ） 環境構成（★） 援助（◆）	子どもの活動するであろう遊びの名前を記載し、環境構成を考えやすいようにする ★環境構成 ※ねらいを達成するために、どのような環境構成をするとよいかか を書く ◆援助 ※ねらいを達成するために、どのような援助をするとよいかかを書く	この様式には、最低限の項目を表記しています。保育室や園庭の環境図等、保育を實踐していく上で必要な項目があれば、裏面や別紙を活用する等、各園やクラスの実態に応じて工夫して計画を立てるようにしてください。	大切なのは、日々、子どもの育ちや発達、自分の環境構成・援助について振り返って評価し、明日の保育がさらに充実していくことです	★何を楽しんでいたのか。 ★何に興味や関心をもっていたのか。 ★こだわっていたこと、その意味は… ★何を実現しようとしていたのか。 ★何を感じていたのか。 ★戸惑っていたことやためらっていたことは… ★友達とどのような関わりが見られたか。 ★自分（保育者）はどのように関わっていたのか。等	家庭や地域との連携		
養護 健康 人間関係 環境 言葉 表現 保健・食育・安全 家庭や地域との連携	【反省・評価の視点】 ① 子どもの育ちや発達についての振り返り ・子どもの育ちや発達について、保育者が気付いたこと等（エピソードと共に記録するとよい） ・子どもの発達や特性が分かるように書く ・保育者が関わったときの子どもの反応 ② 保育者（指導計画）の振り返り ・ねらいと内容が適切であったか ・環境構成は適切であったか（「指導計画・園内研修の手引き（P27）」で示している環境構成の視点を参考に） ・保育者の援助は適切であったか（「指導計画・園内研修の手引き（P29）」で示している援助を参考に） 等	等	等	等	等	家庭や地域との連携		

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。
 ※5歳児は、小学校との接続（架け橋期）を意識して、ねらい、内容を設定しましょう。

今月のねらい		● ○				
先週の 子どもの姿		家庭や地域との連携 .				
		○月○日(月) 天気	○月○日(火) 天気	○月○日(水) 天気	○月○日(木) 天気	○月○日(金) 天気
ねらい (●養護 ○教育) 内容(・)						
【生活の流れ】						
○:○ 登所	子どもの主な活動					
○:○ 所持品の始末	()					
○:○ 好きな遊びをする	()					
○:○ 昼食						
○:○ 午睡	★★					
○:○ おやつ	◆◆					
○:○ 所持品の始末						
○:○ 降所活動	★					
○:○ 降所	◆					
養護						
健康						
人間関係						
環境						
言葉						
表現						
保健・食育・安全						
家庭や地域との連携						
反省・評価						

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。
 ※5歳児は、小学校との接続(架け橋期)を意識して、ねらい・内容を設定しましょう。

今月のねらい	●活動と休息のバランスをとり、健康に過ごせるようにする。 ○先生や友達と一緒に思いやりを動かして遊ぶことを楽しむ。 ○外遊の後の手洗いが身に付いてきたが、遊べたり次に行きたいことがあったりすると、忘れることがある。 ○運動会が終わった後も、保育者や友達と一緒にかけっこをしたり踊ったりして体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。 ○ままことコーナーでごちそう作りをしている。作ったごちそうを保育者や同じ場にいる友達に食べてもらうことを繰り返し楽しんでいる。 ○友達のことに関心をもっていることに興味をもっている友達と遊んでいる。	10月27日(月)晴れ	10月28日(火)雨	10月29日(水)雨	10月30日(木)晴れ	10月31日(金)晴れ	11月1日(土)晴れ
先週の子ども	●自分でできる身の回りのことをできるようにする。 ○戸外から帰ったときは、手洗いやうがいなど、身の回りのことを自分でできるように援助する。 ○先生や友達と一緒にのびのびと体を動かして、戸外での遊びを楽しむ。 ○かけっこをしたり、音楽に合わせて踊ったりして、体を動かして遊ぶ。 ○運動会で異年齢がやっていたダンスや競技をまねて遊ぶ。						
ねらい (●養護 ○教育)							
内容(●)							
【生活の流れ】	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
登所	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
所持品の始末	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
好きな遊びをする	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
食生活	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
おやつ	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
所持品の始末	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
降所活動	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
降所	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
養護	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
健康	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
人間関係	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
環境	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
言葉	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
表現	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
保健・食育・安全	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						
家庭や地域との連携	●子どもが楽しむように、必要用品(ぼくろ、ボール等)を使いやすいところに置いておく。 ○かけっこ、ボール転がし、ぼくろ、異年齢の競技・ダンスのまね(等) ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように(おうちごっこ、レストランごっこ) ○身近にある素材を使って(ごっこ遊びのごちそう作り)						

子どもの姿から、週の途中でねらいが変わる可能性のある行事(誕生会等)の場合も、その内容を追記する

○自然物に触れたり、先生や友達と関わったりしながら、自分がしたい遊びを楽しむ。
・落ち葉や木の葉、小枝などに触れたり集めたりして、自然物を取り入れて遊ぶ。
・自分が思ったことを話したり友達に言葉を送ったりして、簡単なやり取りをする。

・園庭の木の葉や落ち葉を拾って(集める、飾る、見立てる)

★保育者や子どもが見つけた自然物を、目に留まりやすいところに置いておく。
★子どもと一緒に園庭を散策しながら、木の葉や落ち葉を見付ける楽しさを味わえるようにする。
◆保育者も一緒に、木の葉や落ち葉などを見立てたり、ごっこ遊び等に使用したりして楽しむようにする。

赤字は保育の反省・評価から見直し、追加した事項

所属長がコメントを入れることで、保育内容が深まります

【所属長等からのコメント】
1日の生活の中の動と静のバランスによって、子どもの活動が充実していますね。

9時30分からホールを使うことになりました。月曜日のおごっこイメージから、保育者がオオカミのお面を付けて「オオカミとひつじ」という声を使って遊ぶと、「やりたい」という声が増えてきました。保育者が追いかけると、逃げることを楽しんでいました。怖がる様子が見られる子どもには、ゆっくり追いかけることを心掛けること、安心して自分らしいペースで遊べることを楽しんでいた。保育者も一緒に、木の葉や落ち葉などを見立てたり、ごっこ遊び等に使用したりして楽しむようにする。

製作コーナーを広く、毛糸や紙皿等を置いていたことで、切ったり丸めたりして自分なりにごちそうに見立て、ごちそうづくりが広がっていった。作ったごちそうを保育者に「食べて」と持って来たので、テーブルと椅子を並べ、食べる場所を構えると、レストランのイメージができて、友達とのやり取りがスムーズに。保育者が「食べて」と誘うと、子どもも「食べて」と言ってきた。保育者も子どもと一緒に食べて、おごっこを楽しんでいた。明日は雨の予報が出たので、ごちそうを見立てられる素材を製作コーナーに準備すると共に、ごちそうを通して友達とのやり取りを楽しめるような関わりを心掛けたい。

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮し、適切に具体化して設定しましょう。
※5歳児は、小学校との接続(架け橋期)を意識して、ねらい・内容を設定しましょう。

【前日(この頃)の子どもの姿】

【本日のねらい(○)と内容(・)】

【本日の展開】

○:○・登園する

○:○・降園する

Blank area for recording the previous day's children's behavior.

環境図 (保育室)

Activity area for the nursery room with a dashed border and a ~○○~ time marker.

Activity area for the garden with a dashed border and a ~○○~ time marker.

環境図 (園庭)

Activity area for the garden with a dashed border and a ~○○~ time marker.

- 予想される活動
- ★ 環境構成
- ◇ 保育者の援助

【反省・評価】

Blank area for reflection and evaluation.

指導計画(日案) 個別【0・1・2歳児用】 No.6-B

○年○月○日(○)

○○園 ○歳児 ○○組 ○名 保育者名(○○、○○)

	A 児	B 児	C 児 (担当保育者 ○○ ○○)
前日(先週)までの 子どもの姿			加配担当の保育者が いれば、記載する
内容(・) ねらい(●●養護 ○教育)	● ・ ○ ・	● ・ ○ ・	● ・ ○ ・
環境構成(★) 保育者の援助(◆)	★ ◆	★ ◆	★ ◆

当日のねらい・内容を
記載します

指導計画(日案)【0・1・2歳児用】 No.6-C

○年○月○日(○)

○○園 ○歳児 ○○組 ○名 保育者名(○○、○○)

【生活の流れ】

○:○

・登園する

環境図
(保育室)

○:○

・降園する

環境図
(園庭)